

名家連ニュース

令和6年8月16日(金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX(052)846-5576 NO.1008号

◆◆ 第19回家族相談員スキルアップ研修会 ◆◆

炎暑の下、8月15日に名古屋市精神保健福祉センター「こころば」にて、電話相談の研修を行いました。お忙しい中、こころばの宇佐美所長様にご臨席いただきました。

名家連では、ご家族の精神疾患に関わるお困りごとについて、週二回の電話相談を行っております。電話相談に応じるのは、家族会所属の会員さんです。今回は「家族相談よもやま話」をテーマに、5人の家族相談員さんがパネラーとしてそれぞれ対応したケースについて語られ、その後参加者は各ケースについて6名ずつの小グループで、ディスカッションを行いました。研修を通して、元日本福祉大学の長江美代子先生に内容の整理とアドバイスをいただきました。今回の参加者は48名と盛況で、電話相談のスキルアップに対する関心の高さがうかがえました。長江先生は、参加の皆さんの発言の良いところをほめて下さり、安心できる快適な空間を作ってくださいました。



発表された5つのケースは、どれもなかなか複雑な問題をはらんでいました。疾患を得たご本人への対応を問うものや、金銭管理で困っている例もありましたし、別居のお子さんや兄弟姉妹からのご相談も。5人の家族相談員さんは、みな、驚くほど丁寧にお悩みを聞き、悲しみや憤り、迷い、言葉にできない気持ちにもうなずきながら、電話をかけて下さったことへの感謝と、これまでの努力にもねぎらいの言葉をかけておられました。電話相談だけでは、なかなか進まないと判断された場合は、面談相談をお勧めするなど、臨機応変！素晴らしいです。

また、本人やご家族を助ける社会資源についても、相談者さんが落ち着いたところを見計らって、説明されておられました。病院だけではなく、障害者基幹支援センターや訪問看護、社労士、病院のPSWなど、家族が実際に利用してきたからこそその情報を提供できているのも、名家連の電話相談の強みですね。

今回、グループディスカッションでは、全員が意見を述べる機会があり、どなたも貴重なご意見を述べられました。となりでうなずく姿もたくさん。あ、そう答えればいいのか！との気づきもたくさん。

名家連では、ご相談者から「電話をかけてよかった。聞いてもらえてよかった。」「教えていただけてよかった。」と言っていただけの相談を目指しています。私達家族は辛い経験をたくさんしていますが、それを他の相談者さんに「あてはめすぎない」「分かったつもりになりすぎない」「あなたの経験や辛さを教えて下さい」という姿勢も大切な、との声も聞こえました。

最後は役員が準備した、社会資源のリストをおみやげとして配布。池山会長は「どんな行動にも理由があります。その理由が大切」との言葉で締めくくられました。(文:福光)

名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課からのお知らせ

熱田区障害者基幹相談支援センターの運営法人が令和6年9月1日(日)から下記に変わります。

運営法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
所在地 〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭二丁目2番7号 富春ビル3階
電話・FAX (電話)228-3630 (FAX)228-3631